

「世界の未来と日本の役割」 ～持続可能な社会をめざして～

1. 学年・組 6年西組 34名

2. 目指す子供の姿

社会の仕組みを理解して、私的・公的な面から判断した上で、社会の中で、自己実現に向けて行動できる子供

3. 本時における「子供とつくる学び」

社会科では、社会の仕組みを理解して、私的・公的な面から判断した上で、人々の願いや意味を考えていく活動を行う必要がある。この活動を通して、より良い社会を形成していく資質や能力を培うことができる。つまり、社会科の教科の役割としては、単に知識を暗記することではなく、獲得した知識を活用し、仲間と共に社会でより良く生きていくための資質や能力を育むことにある。

本学級の子供たちは、知識が豊富な分、自分の持っている知識を披露する発表が見られた。そこで、これまでの学習では、課題を設定し、子供が問題を見つけ、当事者の人々の立場に立って考え、自分事とし、解決策を考える学習活動に取り組んできた。

本時では、「SDGs」を軸に、前時までの授業で獲得した知識を自分の生活や社会生活と結び付け、仲間との対話を通じて多角的に取られるようにする。また、社会的な課題を自分事とし、「社会的な見方考え方」を働かせて、解決に向かっていく姿を期待したい。

4. 「子供とつくる学び」を実現するための手立て

「子供とつくる学び」を実現するための手立ては、二つある。一つ目は「SDGs」を取り上げ、自分たちができることについて考えることである。本学級の子供たちは昨年、「SDGs」の学習に取り組んでいる。そのため、子供たちにとって身近な教材である。本単元は、「6 安全な水とトイレを世界中に」について焦点を当てる。前時までの授業では、画像や動画、資料などを通して、開発途上国の水不足の現状から、現地の子供たちが水を汲みに行くため学校に行けていないことや先進国が現地でインフラを整備していることについて理解できるようにする。その結果、子供の思考は、「井戸を作ることが大切でたくさん寄付をしよう。」という思考になるだろう。そこで本時の授業では、二つ目の手立てとして、資料を提示し、**子供に揺さぶりを与える**。井戸をめぐる争いや盗難が起こっていることなどを示した資料を提示し「本当に井戸を作るとはいいことなのだろうか。」という問いを設ける。全体での討論を通し、自分と仲間の意見を比較する場面を設定する。また、「**目標を達成するために自分になにができるか。**」を検討することで社会的な課題を自分事とする活動を行う。以上の二つの手立てから子供は授業で獲得した知識を社会生活と結び付け、仲間との対話を通じて多角的に捉える主体的で対話的な深い学びを実現させる。

5. 教材について

本教材は、グローバル化する世界と我が国の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解することをねらいとしている。地球規模で発生している課題解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割について実感できる教材である。

6. 評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。 | 地球規模で発生している課題解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割について考え、表現している。 | 我が国の国際連合の一員としての役割に関心を持ち、諸外国への援助や協力などについて意欲的に調べようとしている。また、より良い社会の在り方について考えようとしている。 |

7. 単元計画

| 次 | 時 | 内容 |
|---|-----|----------------------------|
| 1 | 1 | 「世界の各地で起こる紛争」について考えよう。 |
| | 2 | 「国際連合で働く人々」について考えよう。 |
| | 3 | 「持続可能な社会をめざして」について考えよう。 |
| | 4 | 「国際協力の分野で活やくする人々」について考えよう。 |
| | 5 | 「開発途上国の井戸」について考えよう。 ★本時 |
| 2 | 6・7 | 「開発途上国に必要な支援」について調べよう。 |
| | 8 | 調べたことを模擬国連で交流しよう。 |
| 3 | 9 | 学習をまとめよう。 |

8. 本時の目標

SDGsの目標「6 安全な水とトイレを世界中に」に着目して、開発途上国の現状などの各種資料の情報を根拠に、井戸を作ることについて討論することで、自分が現地への支援をする立場ならどのような選択をするかについて考え、表現することができる。

【思考・判断・表現】

9. 本時の展開

